

第12回 静岡県教育のつどい in 浜松市
 第57回 東海近畿教育研究サークル合同研究集会

語りあおう！地域と学校にできること



～子どもの権利条約 30 年、子ども・若者の声を聴き、共に未来を語りあおう～

2019 年 11 月 23 日 (土・祝), 24 日 (日)

会場 静岡県立浜松城北工業高等学校

(〒430-0906 静岡県浜松市中区住吉 5-16-1)
 浜松駅バスターミナル13番乗り場
 市役所・山の手・医大線方面 「城北工高」下車 (乗車時間約 20 分)
 <<駐車場には限りがありますので、公共交通機関でおこしください>>

主催 静岡県教育のつどい実行委員会
 近畿東海教育研究サークル連絡協議会
 後援 浜松市、浜松市教育委員会、
 中日新聞東海本社、静岡新聞、SBS



<<静岡県教職員互助組合高校支部 教育講演会>>

記念講演 津富 宏さん (静岡県立大学教授)

「困りごとからスタート、静岡方式で行こう
 ～若者が期待する学校教育～」

少年院教官としての法務省勤務を経て、
 静岡県立大学国際関係学部教授
 NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡理事長
 一般社団法人静岡学習支援ネットワーク理事長
 専門分野は、犯罪学、評価研究、青少年の社会参加支援
 『生活困窮者自立支援も「静岡方式」で行こう!! 2 相互扶助の社会をつくる』(クリエイツかもがわ) より



パネルディスカッション 「若者が期待する学校教育とは」

若者エンパワメント委員会、静岡学習支援ネットワーク、エバーグリーン藤枝、浜松学生ボランティアネットワーク
 今、地域で活動している県立大学の学生や若者たちが、今の学校教育について熱く語りあいます。

<<主催 静岡県教育のつどい実行委員会 静岡県教育研究会 静岡県教育会館 静岡県教育事業団体連絡会>>

◎参加費・資料代 教職員 1000 円、市民 500 円、学生以下無料

◎交流会・昼食・宿泊について

- 昼食について 23日はもちつきをやりませう。(500 円) 24日の昼食は、各自ご用意ください。
- 交流会 遠鉄百貨店新館 13 階スカイラウンジ 3500 円
- 宿泊 くれたけイン・セントラルホテル シングル 6200 円

◎参加申し込み

第 12 回静岡県教育のつどい実行委員会事務局

須部友康 Tel&Fax 053-433-9851 MLD33569@nifty.com

交流会の手配の関係で、11 月 8 日 (水) までに申し込みをしてください。

参加申し込み 記入して、上記に FAX またはメールで、送ってください。

氏名	連絡方法 (Tel、Fax、メールアドレス、住所)	所属 1 一般 2 教員 3 退職教員 4 学生
11 月 23 日 (土)	もちつき 参加・不参加	参加希望分科会 (A B C D E)
交流会	参加 ・ 不参加	宿泊 予約希望 ・ 不要
11 月 24 日 (日)	参加希望分科会 午前 ()	午後 ()

◆23日(土) 11:00~

もちつき交流会

(参加費500円)

12:00~15:00

全体会、記念講演、パネルディスカッション

15:00~17:30

市民と共に考える「共育」分科会

	テーマ	語り合いたい内容
A	わたしが望み、願う学校 ~まずは若い先生方の 困りごとからスタート~	パネルディスカッションを受けて、生徒、保護者、教職員、市民の学校への希望と願い、不満や悩みや不安を語り合しましょう。
B	子どもの居場所 —あそび・くらし・学び—	遊び、学びの支援にかかわる団体、放課後児童クラブ、放課後等ディサービス等の報告を受け、子どもたちとの関わりを交流し合しましょう。
C	学びあい「共生」する学校と地域	地域とつながる学びや活動を交流するとともに、生きづらさや「障がい」のある人たちとの「共生」について、一緒に考えましょう。
D	聞かせて！部活のホンネ	部活動の現状と望ましいあり方とは？教員・生徒・保護者など様々な立場から共に考えましょう。
E	夜間中学をつくろう	映画「こんばんはⅡ」を観て、全国に夜間中学をつくる運動を盛りあげましょう。

◆24日(日) 9:00~16:00 教科別・問題別分科

分科会		レポート・内容
1	国語	内村秀文(静岡)「リーディングワークショップ」 早久間学(滋賀)「ゆうすげ村の小さな旅館」入澤佳菜(奈良)「二番目の患者」
2	算数・数学 午後のみ	講座 何森真人(大阪)「算数の授業づくりの基礎基本」
3	社会	良知永行(静岡)「アクティブラーニング」で世界史の授業が画一化していないか？ —「ローマ滅亡のターニングポイントは？」の授業をつくる— 早川 實(三重)「戦争と公害はツナガル」 西浦 (奈良)「生駒から自動車工業を学ぶ」 長澤 裕(静岡)「社会科通信を発行して(中学での取り組み)」
4	理科	篠崎 勇(静岡) 科学教育研究協議会「放射線副読本」【2018年版】批判・検討(仮題) 山内 衛(静岡) 「音の学習」 生源寺 (京都) 「ものの重さ」 理科サークル SCIENTIA (静岡)
5	音楽	秋桜(コスモス)(静岡)「音楽を通してつながろう。思いを知り、思いを届ける合唱をめざして」
6	図工・美術	講座 鈴木克洋(静岡)「美術教育で何をねらってきたのか」 鈴木 恵(静岡)「鑑賞を活かした制作活動」
7	家庭	清水佳子(静岡)「子どもたちの現実から始める家庭科 特別支援学級での実践」
8	体育	牧野 満(大阪)「ドル平泳法に取り組んで30年」
9	英語	山口良二(静岡)「卒業制作英語劇『西から昇った太陽』」 長谷川 寛(静岡)「中学生でも時事英語」
10	道徳	藤井基貴(静大教育学部)「防災道徳」 岩本賢治(兵庫)「道徳の授業の現状と課題、そして提案」
11	生活・総合	中野照雄(兵庫)『あきのみやたね』の発展教材として ~種の模型づくりから植物の子孫を残す智慧を学ぶ~ 笹ヶ瀬浩人(静岡)「蚕の飼育—生き物と深く関わる生活科学習一」 笹木実菜(静岡)「資料が子どもの心をとらえる~広島、原爆から平和について考える~」
12	特別支援	青鳥雅文(静岡)「肢体不自由 教科指導(理科編)仮題」 若杉吏歩(静岡)「愛着障がいのHさん」仮題
13	学級づくり	小川京子(静岡)「生徒と共につくることを目指して」 山田陽子(静岡)「A子とともに」
14	生活つづり方	宮内ゆか「昨年度の実践をふりかえって」
15	子どもの権利	今滝憲雄(大阪) 基調報告 大山浩司(静岡)「フリースクール・ドリームフィールから子どもの権利を考える」 龍神美紅(和歌山)
16	学力づくり 午前のみ	図書啓展(大阪)「競争の学力でなく共同の学力を」 山口佐知男、堀井克也(愛知)